

「確かな学び」をはぐくむために

4月から、学校二学期制を実施

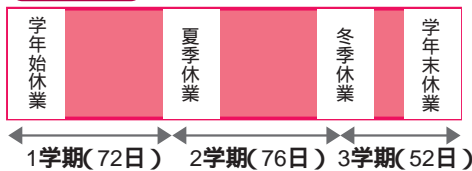
市立小・中学校では授業時間を少しでも多く確保し、子供たちがゆとりの中で自ら学び、考える力と基礎・基本を確実に身につけることができるよう、4月から、「学校二学期制」を実施します。

現行の三学期制では、夏休みや冬休みを区切りとして学期を分けていますが、二学期制では10月上旬を区切りとするため、長期休業日(夏休み、冬休みなど)を学期の途中に挟むこととなります。二学期制導入に伴い、五つの休業期間が設けられますが、授業の総日数は変わりません(左図参照)。

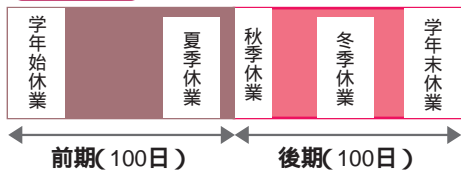
学校一学期制のねらい

1. 行事の見直しなどで授業時間数が増えることにより、子供の自主性や意欲を重視した「確かな学び」をゆとりをも

三学期制



二学期制



かつこ内は授業日数の目安です。

って身に付けることができます。

2. 一つの学期が長くなるので、休みの前後での学習の連続性や継続性を維持しながら、一人一人にゆとりと時間をかけ、きめ細かな指導や評価を行うことができます。

3. 教育計画の見直しにより、既存の枠にとらわれない「特色ある学校づくり」を進めることができます。

4. 通信票の回数は各学校が決定しますが、長期休業前には個人面談や学習相談などを充実させ、学校と家庭との連携を強めていきます。

一学期制導入の経過

平成14年度に中央林間小学校が市内で初めて、評価の二期制を実施。同15年度には市教育委員会が「二学期制準備委員会」を設置して、市外の先進校から情報収集し、その効果や課題を整理・分析しました。

また、同16、17年度は、「二学期制検討委員会」を設置して、学力向上に向けた学習指導と評価の在り方、ゆとりある学校生活を送るための行事・授業編成などについて研究や検討を進めました。その一方で、大和・文ヶ岡・中央林間の各小学校と渋谷中学校を、「二学期制研究校」に指定。研究校ではそれぞれテーマを設け、運動会や修学旅行などの開催時期を変更し、日常の学習活動と関連づける、

保護者に二学期制に関するアンケートを実施して課題を明らかにする、夏休み前や夏休み中に個人面談や学習相談を実施し、一人一人の学習課題を提示する、細かく丁寧な指導ができるよう、評価項目や基準を見直す、といった二学期制の本格導入に向けたさまざまな研究が行われました。今後は、こうした取り組みの成果を踏まえ、各学校ごとに保護者

への説明会などを実施しながら、「創意あふれる学びの場」の充実を目指します。

1 評価の二期制・三学期制を維持したまま、通信票のみ年2回発行としました。

2 二学期制検討委員会・校長会、研究校、PTA、学校評議員、市教育委員会の各代表で構成

問い合わせは、市教育委員会指導室指導担当 ☎(260)5210、✉sindouへ。

武力攻撃やテロなどから身を守るために

大和市民国民保護計画を策定します

我が国に対する外部からの武力攻撃に対し、国民の生命や身体、財産を保護するため、平成16年9月に「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律(国民保護法)」が施行されました。

同法では、武力攻撃や大規模テロなどに伴う被害を最小にすることができるよう、緊急の必要がある場合は警報を発令して、皆さんに危険な状態になったことをお知らせするとともに、国や都道府県、市町村などが協力して、情報の提供や避難の誘導、避難所の開設、救援物資の配布、救助活動、医療活動などの措置に迅速かつ全力を挙げて対応することとしています。こうした国民の保護のための措置を実施することに備えて、あらかじめ、

国は基本指針(国民の保護に関する基本指針)を、地方公共団体は国民保護計画をそれぞれ作成することになりました。

大和市では、昨年3月に国から示された基本指針に基づき、県が現在策定中の「神奈川県国民保護計画」や、今後国から示される「市町村国民保護モデル計画」との整合性を図りながら、「大和市民国民保護計画」を策定します。

同計画では、市の特性を踏まえ、住民の避難手順や避難住民の救援といった具体的措置などを定めていく予定です。計画の策定にあたっては、市自治会連絡協議会や鉄道などの公共交通機関、各分野の専門家などから成る大和市民国民保護協議会を設置し、幅広く意見を取り入れていきます。市はこうした検討を重ね、平成18年度中の同計画策定を目指します。

問い合わせは、市役所防災対策課地域防災対策担当 ☎(260)5777、✉bousaiへ。

まひる

市長 土屋俊博

大和市役所の光と影

大和市の職員の意識改革はここ数年で相当進み、その結果大和市はいろいろな行政執行で注目を浴びている。わたしに言わせれば、まだまだ向上の余地は大いにあると考えるが、先進市といわれるようになってきているのは事実である。

そこで恒例の仕事始めに際しての訓示では、そのようなニュアンスのあいさつをそれぞれの場所（本庁舎、環境管理センター、大和斎場、保健福祉センター、消防本部、渋谷区画整理事務所、市立病院）で行った。

大赤字の市立病院では最初から叱咤激励をした。医学に携わる者の使命は「良くする」「治す」ことであり、東京市長であり関東大震災の後に内務大臣として東京を復興させた後藤新平は、もともと医者であることなどを紹介し、今の市立病院こそ大手術が必要であると訓示した。

保健福祉部では、福祉先進市といわれてきた大和市なのに、最近は特に評価されることもないと指摘して活を入れ、新たなチャレンジを求めた。実はこの保健福祉部に厳しかったのには訳がある。

その影の部分

今年のお正月、自宅に届いた懐かしい人たちが、お世話になっている人々の近況などが書かれたうれしい数百通の年賀状の中に、百通近い組織化されたはがきがあった。

「年賀」と書かれたその普通はがきには、稚拙な字の新年の書き出しと共に「市立保育園7園の廃止・縮減を止めてください」という同じ内容が書かれてあった。わたしは「民営化」と言うことからも、扇動者がいることが分かる。

差出人は市立保育園の保育士たちであった。

住所氏名が明記されてあることからすると、本人たちにあまり罪悪感はないのであろうが、その公務員の自覚のない行動と内容に幼さを感じ、大和市民の子供たちを預けていることの恐ろしさを感じた。

その光の部分

それに比べて環境部のごみ収集作業員の皆さんは、戸別収集や二人乗車などの収集方法の大きな変更に関しても、今までだれ一人として直訴してきたことはない。

正月4日朝8時のわたしの訓示に対しても、整然と静かに聴いており、今後導入されるさまざまなごみ収集の変更も順調にスタートできそうなそんな予感がした。

在日米軍の再編問題に関し、昨年12月26日、麻生太郎外務大臣が厚木基地の状況を視察するため、大和市を訪れました。これは、昨年10月末に日米両政府間で取りまとめられた、いわゆる中間報告で示された厚木基地を含む兵力態勢の再編に関連して、外務大臣としては初めて、県内の主な米軍基地の視察に訪れたものです。

その後、土屋市長は大和スポーツセンター屋上に麻生大臣を案内し、艦載機による騒音被害などの実情を説明しました。麻生大臣は厚木基地周辺を見渡し、基地が住宅密集地と隣接していることに驚いたようでした。

また、この日は外務省の河相周夫北米局長や日米安全保障条約課の四方敬之日米地位協定室長、高見澤将林横浜防衛施設局長らも大臣に同行しており、日本を取り巻く国際情勢や日米協議についての考え方などについて意見を交わしました。

麻生外務大臣が厚木基地周辺を視察

在日米軍の再編問題に関連して



麻生外務大臣（右端）との会談

今後の見通しなど、幅広く意見を交換しました。市では、日米両政府により進められる



大和スポーツセンター屋上から視察

最終的な協議結果の行方や厚木基地に関する動向を注視しつつ、今後も基地問題の解決に向けて効果的な働きかけをしていきます。

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当☎(260)5310、✉kicnへ。